

各 位

2023年2月22日
株式会社マイネット
(コード番号:3928)

2022年12月期 第4四半期及び通期決算説明会 質疑応答要約

Q1：タイトルの減損が発生した理由について教えてください。

A1：22年度はタイトル1本あたりの投資額が大きく、減損リスクが極めて高い状況でした。その上で、獲得時におけるデューデリジェンスが甘かったことや、移管後の運営が軌道に乗らなかったことなどにより、減損損失が発生いたしました。

Q2：滋賀レイクスに係るのれん及び同社が保有する複数の有形固定資産の減損の背景を教えてください。

A2：事業譲受した際に策定した計画から大きく乖離してしまったことによるものです。滋賀レイクスの更なる収益向上について自信を持っていますが、監査法人からのご指摘もあり、この度、減損損失を計上するに至りました。

Q3：滋賀レイクスで検討している資本提携における考えを教えてください。

A3：リーグやチームが成長していくためには、アリーナ等への継続的な投資が必要になります。リーグ全体を見渡しても、独資のみで参画しているチームばかりではありません。北米の4大スポーツや欧州のフットボールリーグにおけるプロスポーツチームでも、様々な資金調達的手段を持って、継続的な資本の増強を行っています。滋賀レイクスが更なる成長を遂げるためにも、当社以外の資本にも参加していただく必要があり、向こう1年程度の期間の間に実現したいと考えています。

Q4：NFTを活用したビジネスの目処が立たなくなった背景を教えてください。

A4：NFT全般のビジネスの目処が立たなくなったわけではありません。ゲームサービス事業内で企図していたブロックチェーンを活用したコミュニティ形成やNFT販売については、期待するような収益化は困難と判断し、投資を中断いたしました。ファンタジースポーツ事業におけるNFT活用は引き続き模索してまいりたいと考えています。

Q5：純資産が乏しい中、営業利益1億円という計画（2023年12月期）では不安です。資本政策についての考えを教えてください。

A5：まずは、コスト削減を中心とした各種施策を行うことで、23年度は黒字を必達目標とし、24年度についてはより高い利益率を出せるような状態に整えてまいりたいと考えています。その上で、事業成長に繋がる投資であれば積極的に行っていく次第であり、バランスシートの状況を鑑みながら、必要に応じて資本による調達も検討する考えです。

なお、2022年12月期第4四半期及び通期 決算説明会動画も公開していますので、以下のURLよりご覧ください。

<https://youtu.be/B0RlyJScBmQ>

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社マイネット IR担当 香田 遼也

E-mail : ir@mynet.co.jp

以上